



ごあいさつ

山口県高等学校体育連盟

会長 齊藤 英一郎

第74回山口県高等学校総合体育大会が、5月27日から29日までの3日間を中心に、美祢青嶺高等学校2年 大石 怜さんの作品「魅せるとき ～今ここは君の舞台～」のスローガンの下、盛大に開催できますことを大変うれしく思います。

この大会は、31競技に県下78校、約8,000人の高校生が覇権をかけて競う、山口県最大の高校スポーツの祭典です。大会の勝者の多くが高校生アスリートの夢舞台でもあるインターハイへの出場権を得るものであり、この大会を目標に各選手・チームは、これまで練習を重ね、競技力を高めてきたと思います。選手の皆さんが、これまでの練習の成果を十分に発揮されることを願うとともに、一人ひとりが高校生らしい、はつらつとしたプレーを展開し、精一杯の青春を感じてもらいたいと思います。

さて、昨年は「躍動の青い力 四国総体2022」が徳島県を中心に四国4県と和歌山県において、3年ぶりに有観客で開催されました。山口県からも30競技、479名の選手が参加し、特に女子選手の活躍が目立った大会でした。女子バドミントンの団体連覇、女子テニスの団体及びダブルス、男子ヨット420級、また個人競技では女子のヨットとなぎなたで優勝するなど、12競技32種目で入賞を果たしました。これは前回大会を上回る結果で、コロナ禍においても選手の皆さんをはじめ各専門部の指導者や関係者の方々のたゆまぬ努力の賜物であり、改めて関係各位の皆様にお礼を申し上げます。

今年もインターハイ出場をかけて、これから県内各地で熱戦が繰り広げられます。7月22日から北海道を中心に山形県、栃木県及び和歌山県で開催される「翔び立て若き翼 北海道総体2023」において、山口県の高校生が躍動し、声援と応援が北の大地で舞い上がることを心から願っております。

結びになりますが、本年度も今大会を共催していただいております山口新聞社様、そして日々、高校生の心身の健全な発達に御尽力いただいております各学校の先生方、高校生を温かく支えていただいております保護者の皆様方、さらには、山口県並びに山口県教育委員会をはじめ高校生の運動部活動に格別の御理解と御支援をいただいております各競技団体の関係者の皆様に対し、深く感謝とお礼を申し上げ、あいさつといたします。